

◆新入生の皆さん ご入学おめでとうございます！

✿校長式辞

例年より早く咲き始めた桜が満開となった本日、保護者の皆様が見守る中、令和五年度の横越中学校入学式が挙行できますことを大変うれしく思っています。

九十三名の新入生の皆さん。入学おめでとうございます。二年生、三年生の先輩たちも、私たち教職員も、皆さんの入学を本当に心待ちにしていました。ようこそ、横越中学校へ。

また、お子様をここまで立派に育てられ、今日の日を迎えられました保護者の皆さまに、心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。

新入生の皆さん。私は皆さん一人一人に将来、充実した人生を送ってほしいと心から願っています。そして、そのためにはこの中学校三年間の過ごし方がとても大切だと思っています。

皆さんは中学校を、どういう所だと思っていますか。中学校は、「生徒が大人に近づく場所、大人になる場所」です。中学校三年間で義務教育は終わります。その先の人生をどうするのかは、もう自分で決めるのです。ですから、この三年間で、自分のことを自分で決めることができる大人になって欲しいのです。

さて、どうすると大人になれるのでしょうか。十五歳になれば自動的に大人になれるわけではありません。自分で考えたり、行動したりする必要があるのです。そこで今日は、大人になるための大切なポイントを三つ皆さんにお話しします。

一つ目は「自分はどんな大人になりたいのか」を、一人一人が自分の力で、よく考えることです。例えば「思いやりのある大人になりたい」「前向きで行動的な大人になりたい」「判断力があって周りから頼りにされる大人になりたい」など、どんな大人になりたいかは人によって違います。大人になることは、どんな大人になりたいのかを考えることから始まります。ぜひ、自分だけの素敵な「なりたい大人像」を一人一人が考えて欲しいと思います。

二つ目は「なりたい大人になるためにどうするか」を自分で考えて、実践することです。例えば「思いやりのある大人になりたい」人は、常に笑顔で人と話すように心掛けてみるとか、「判断力がある大人になりたい」人は、授業で出た課題について、いろいろな人の意見を聞くとか。

「前向きな大人になりたい」人はどうすればいいでしょうか。こういうことを一生懸命に考えて、実践してみることです。これは簡単なことではありません。きっと何度も失敗したり挫折したり悩んだりするでしょう。それでいいのです。そう簡単に、なりたい大人にはなれないのです。でも、中学校にはそんなときに頼りになる味方がたくさんい

ます。それは、同じ中学生である先輩や仲間、そして先生方です。

大人になるための三つ目のポイントは、周りにいる仲間や先生方から学ぶことです。皆さんの周りには、思いやりがあったり、前向きだったり、判断力があつたりする、素敵な先輩、素敵な仲間がいっぱいいるはずですよ。その姿を見て「いいなあ」「自分もこうなりたいなあ」と思ったらまねをしたり学んだりしてください。こういう姿勢があれば、中学校三年間の学校生活の中で、きっと皆さんは自分がなりたい大人に近づくことができるはずですよ。そして、先生方一人一人を頼りにしてください。先生方は皆さんが大人になることを助け、応援し、ときには叱ってくれる存在です。私たち教職員は何より、皆さん一人一人が素敵な大人に成長することを心から願っているのです。

中学校は「生徒一人一人が、自分がなりたいと願う素敵な大人に成長する場所」です。そして皆さん一人一人は、自分自身をなりたい大人に育てていく、プロデューサーです。自分をプロデュースできるのは、自分だけなのです。

プロデュースを成功させるカギをひとつ付け加えます。それは自分がなりたい大人になれるということに信じ切ることです。あの大谷翔平選手は、自分がメジャーリーグで二刀流で活躍できることを信じて疑わなかったそうです。それがなければあの活躍はなかったでしょう。みなさんもぜひ、自分の可能性を信じてあげてください。

横越中学校の教育目標は「進んで学び 協力し合い たくましく生きる生徒」です。皆さん一人一人が進んで学び、協力し合うことを通して、なりたい大人になるための第一歩を力強く踏み出してほしいと思います。



保護者の皆様には、お子様が中学校でしっかりと成長していけるよう、お子様を見守り応援していただきたいと思っています。私たち教職員一同、生徒一人一人の成長を、保護者の皆様と一緒に喜び合える中学校生活となるよう、頑張っ

て参ります。

新入生の皆さんが、希望と感謝の像に見守られ、心の木のぬくもりある校舎に包まれた、ここ横越中学校で、自分がなりたいと願う素敵な大人に成長する三年間を過ごせることを祈念し、式辞といたします。

✿在校生 歓迎の言葉

桜が満開を迎え、温かい風を感じる季節になりました。新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。私たちは在校生は今日という日を心待ちにしていました。

新入生の皆さんは六年間の小学校生活を終え、これから始まる中学校生活に夢と希望を抱く一方、新しい環境に対し不安や心配な気持ちも抱えていることでしょう。私たち二、三年生も最初は皆さんと同じような気持ちでこの入学式の日を迎えました。

そこで、今から皆さんの不安や心配な気持ちを少しでも和らげるために小学校との違いをいくつか分かりやすく紹介したいと思います。

一つ目は学習についてです。中学校では小学校と異なり、教科ごとに担当の先生が替わり、授業を行います。また、年に四回定期テストと呼ばれる大きなテストが行われ、皆さんがどれだけ授業を理解しているかを確認します。このテストは範囲も広く、小学校のテストよりも難しいです。そのため、授業で学んだことを日々家庭で復習をすることもとても大切です。

二つ目は部活動についてです。横越中学校には十二の部活動があります。どの部活動もそれぞれが目指す目標があり、その目標を仲間と協力し達成しようとする中で仲間との絆や精神面での大きな成長を得ることができます。ぜひ、皆さんも自分に合った部活動を見つけ、青春を謳歌してほしいと思います。

三つ目は、学校生活についてです。中学校では、生徒が中心となって活動する機会が多く設けられています。例えば、体育祭や合唱祭などの学校行事、生徒会本部または、各専門委員会が行う生徒会活動などがこれにあたります。昨年度まで、横越中学校の専門委員会は一年間を通して同じ委員で活動を行っていました。仕事に慣れるという長所がある一方、委員会に入りたくても入れない人が出たり、委員が固定化されたりすることで新しい視点が入りにくいという現状がありました。そこで、今年度は試験的に所属期間を一年ではなく、前期・後期で委員を募集することになりました。新入生の皆さんには自分の考えに縛られずに色々な意見を聞き、その意見について考え、色々な角度から物事を見て判断できるようになってほしいです。その上で、自分では分からないことがあったら遠慮



せずに私たち先輩や先生方を頼ってください。皆さんの力になることを約束します。そして横越中学校の一員として地域の方々に誇れる横越中学校を共に創り上げていきましょう。

長くなりましたが、中学校生活の三年間という時間は長いようでいてあっという間です。限りある時間で様々な事に挑戦し、充実した学校生活を送ることを願って、歓迎の言葉とさせていただきます。

令和五年四月七日 生徒代表 中村 瑛斗

✿新入生 誓いの言葉

あたたかな春の訪れを感じる今日この良き日、私たち九十三名の新入生は、横越中学校に入学します。このような素晴らしい式を開いてくださり、ありがとうございます。

この三年間、新型コロナウイルスの影響で、いつもマスクをし、いろいろな制限の中で学校生活を送ってきました。しかし、これからは、ようやくマスクを外し、もっと活発に活動できるようになることに、期待で胸を膨らませています。

僕は、中学校生活で特に学習を頑張りたいと思っています。その中でも、数学と英語に力を入れたいです。数学では、小学校の算数よりも難しくなると聞いています。そこで、予習復習を繰り返して、苦手をなくし、単純なミスもしないように気をつけたいです。英語は、普段の授業の中だけでなく、家庭学習でも単語を覚えたり、文の作り方を学んだり、自主的に取り組みたいです。

中学校で頑張りたいことはたくさんありますが、まだ未熟な私たちは、一人で乗り越えることが難しく、迷い悩むことも多いと思います。どうか、そのときは温かく、ときに厳しく手をさしのべていただけるとうれしいです。支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、日々を過ごしたいと思います。

最後になりますが、この三年間の中で、私たち新入生は、中学生としての自覚と責任感をもち、たくましく成長していくことをここに誓います。

令和五年四月七日 新入生代表 齋藤 隼太郎



◆前期の抱負 ～2・3年生代表生徒より～

「今年度の抱負」

2年3組 大島 夏彦

私が今年頑張りたいことは、三つあります。

一つ目は学習です。一年生の前期は勉強した内容がよくわかり、休日が多くて勉強の時間が増え、順調でしたが、後期に入ってから、テストの一週間前でさえ勉強に身が入らず、提出物を出せないまま、テストの点数を落としてしまうような結果になりました。だから今年はテスト前に限らず、しっかり勉強に取り組み、理解を深めて、テストで高得点を狙いたいです。

二つ目は部活動です。一年生のときは、試合に出場することが多くはなく、チームに貢献できませんでした。今年は練習メニューの意味を把握して取り組み、さらに自主的な練習も行い、もっと技術の向上や体作りに励んでいきたいです。そして、試合に出てチームに貢献したいと思います。

三つ目は生徒会活動です。私は書記局員になり、先輩と共に横越中学校の生徒会活動を作っていくことになりました。昨年度は、一学年委員長でしたが、前期は特に一学年委員の仕事ができず、不甲斐ない一年を過ごしてしまいました。なので、生徒会活動では全力を尽くし、生徒会三役のみなさんを助け、全校の力になれるように頑張ります。

「今年頑張りたいこと」

3年組 阿部 有那

私が今年頑張りたいことは、二つあります。

一つめは、テスト勉強や受験勉強を計画的にすることです。昨年も計画を立て、テストに備えて勉強をしましたが、細かく予定を立てていなかったため、特定の日に勉強することが集中してしまうようなときもありました。そのとき以上に勉強することが増える分、より特定の日にすることが集中しやすくなると思います。このようなことがないように、今年は一ヶ月ごとに予定を立て、コツコツと勉強を進めていきたいです。

また、昨年は「深く広く」勉強することを心掛けて、毎日の勉強に取り組みました。一つ一つの勉強時間は長くなってしまったけれど、理解を深めながら勉強することができたので、これからも続けていきたいです。

二つめは、検定の勉強を進めることです。三年生になって、受験やそのことに関係するテストにより、忙しくなると思います。しかし、時間をとってほかの勉強にも力を入れられるよう、頑張っていこうと思います。また、テストに備えて、どの問題も早く解けるよう、練習していきたいです。

計画的に勉強をして、睡眠もしっかり取り、健康に気をつけて頑張りたいと思います。中学校生活最後の一年、しっかりと学びつつ、楽しんで過ごしていきたいです。

◆生徒会入会式



1年生のために、生徒会本部・専門委員長、各部が春休み中などに準備してきた内容を発表していました。ここ数年実施がありませんでしたが、どこもわかりやすい発表をしていました。



◆R5 年度職員一覧

学年部	氏名	役割
4学年	倉澤 秀典	校長
	中川 秀太	教頭, 社会
	米谷 智	教務主任, 社会, ソフトテニス部
1学年	山口 麻子	学年主任, 英語, 吹奏楽部
	小林 透	学年副主任, 保健体育, 男子バスケットボール部
	中野 雄太	1組担任, 研究主任, 理科, 陸上競技部
	堀川 航矢	2組担任, 国語, 軟式野球部
	河野 絵梨	3組担任, 美術, 美術部
2学年	西埜 雅美	学年主任, 家庭科, 男子卓球部
	小林 裕史	1組担任, 生徒指導主事, 保健体育, バレーボール部
	富澤 宜子	2組担任, 学年副主任, 国語, 女子卓球部
	佐藤 詩織	3組担任, 理科, 数学, ソフトテニス部
	清野 伸一郎	副任, 適応指導教室, 数学, 男子卓球部
	武田 陸	副任, 保健体育, 女子バスケットボール部
3学年	風間 紀由美	学年主任, 音楽, 吹奏楽部
	藤原 壮利	1組担任, 英語, 女子バスケットボール部
	竹内 明子	2組担任, 学年副主任, 進路指導主事, 数学, 男子バスケットボール部
	徳吉 美羽	3組担任, 社会, 女子卓球部
	尾崎 郁巳	副任, 英語, 剣道部
	片岡 勇輝	副任, 英語, バレーボール部
いなほ	鈴木 順子	いなほ A 担任, 理科, 科学部
	永井 秀夫	いなほ B 担任, 技術, 陸上競技部
	廣川 純子	いなほ C 担任, 特別支援教育コーディネーター, 国語, 軟式野球部
	矢後 美佳子	特別支援教育支援員
	尾身 真帆	特別支援教育支援員
4学年	川崎 直美	養護助教諭
	三浦 良子	栄養教諭 ※横越小と兼務
	高橋 拓也	主査
	土田 久美子	司書
	串田 信宏	用務員
	亀山 奈津子	調理員
	齋藤 舞子	調理員
	上村 恵子	調理員
	田中 貴代	調理員
	大沢 美子	地域教育コーディネーター
	岡崎 竹虎	部活動指導員(剣道)
	田中 修	スクールサポートスタッフ
	塚野 縁	スクールカウンセラー
	Ria Charles	ALT
	渡辺 らら	養護教諭(育休中)

